



栗田工業株式会社

2024年3月期 第1四半期
決算説明会

(証券コード：6370)

2023年8月9日

業績概況



(単位：億円)		2022/6期	2023/6期	前年同期比	上期見通し	前年同期比	
受	注	高	1,001	984	△ 1.7%	1,750	△ 12.7%
売	上	高	747	905	+ 21.3%	1,810	+ 12.6%
事	業	利	63	75	+ 18.0%	162	△ 2.5%
そ	の	他	1	7	—	△ 5	—
の	の	収					
支							
営	業	利	64	81	+ 27.5%	157	△ 4.0%
益							
税	引	前	73	81	+ 10.9%	155	△ 11.5%
四	半	期					
利							
益							
親	会	社	49	57	+ 17.1%	105	△ 15.2%
の	所	有					
者	に	帰					
属	す	る					
四	半	期					
利							
益							
1	株	当	43.29	50.67	+ 17.0%	93.42	△ 15.2%
た	り	四					
半	期	利					
益							
(円)						
為							
替	USD	(129.6	137.4			
レ	円)						
ー	EUR	(138.1	149.5			
ト	円)						
	CNY	(19.6	19.6			
	円)						

- その他の収支は、為替差益の増加とその他営業費用の減少により増加。
- 前期は、税引前四半期利益において金融収益として、ペンタゴン・テクノロジーズ社の株式追加取得に伴い実施したデリバティブ取引の差益（11億円）を計上。

セグメント別業績

(単位：億円)		2022/6期	2023/6期	前年同期比	上期見通し
全社	受注高	1,001	984	△ 17	1,750
	売上高	747	905	+ 159	1,810
	事業利益	63	75	+ 11	162
	事業利益率	8.5%	8.2%	△ 0.2pp	9.0%
	営業利益	64	81	+ 18	157
電子	受注高	436	420	△ 15	680
	売上高	309	432	+ 123	810
	事業利益	43	44	+ 1	74
	事業利益率	13.9%	10.1%	△ 3.8pp	9.1%
	営業利益	43	45	+ 2	74
一般水処理	受注高	565	564	△ 2	1,070
	売上高	437	473	+ 36	1,000
	事業利益	20	31	+ 11	88
	事業利益率	4.6%	6.5%	+ 1.9pp	8.8%
	営業利益	21	36	+ 15	83

電子

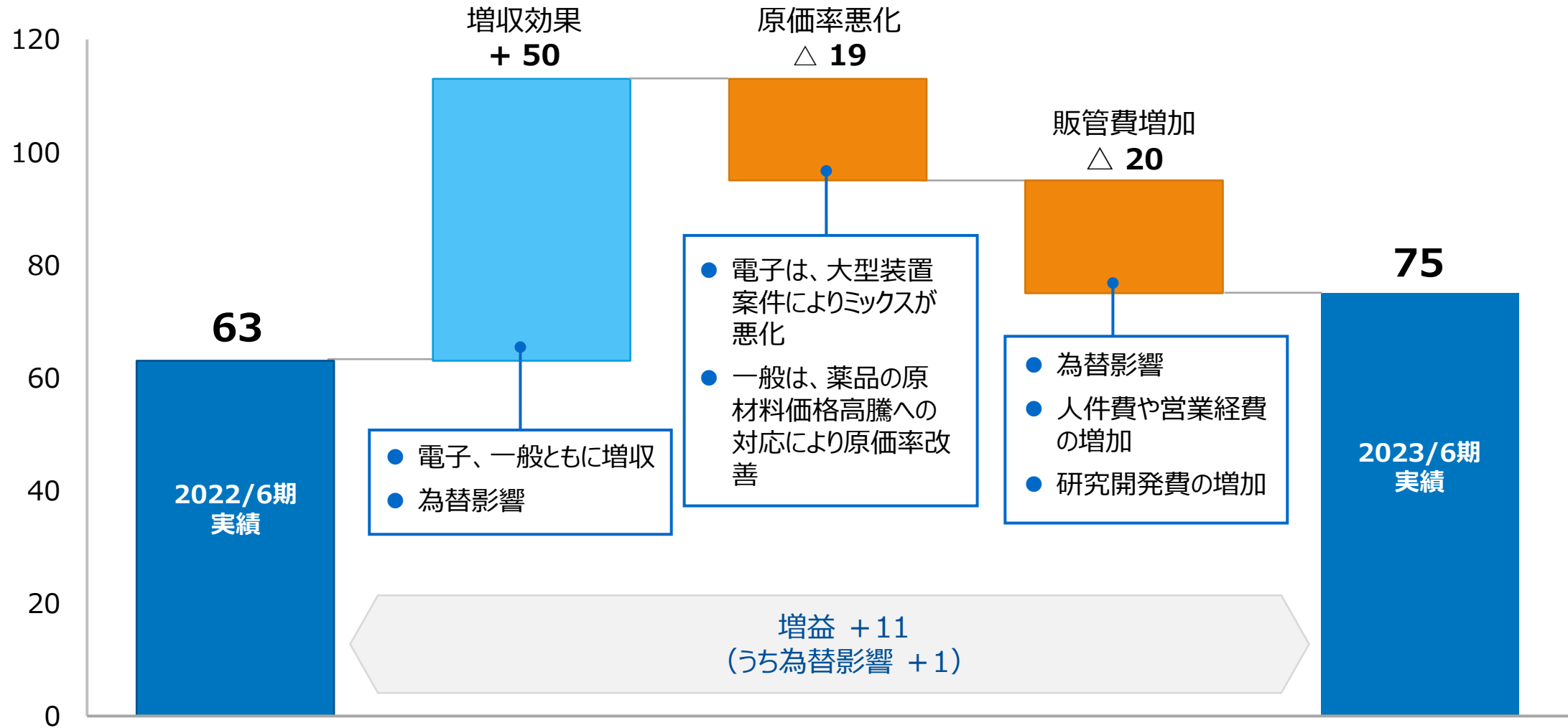
- 受注高の減少は、主に精密洗浄とメンテナンスの減少が影響。
- 売上高は、主に装置の受注済み案件の工事進捗により増加。
- 売上高の増加に対し、サービス事業の売上高構成比の減少による原価率悪化と販管費増の影響により、事業利益は微増。

一般水処理

- 受注高は、ほぼ前年並み、売上高は、装置・メンテナンス案件の工事進捗により増収。
- 事業利益は、増収効果と原価率改善効果が、販管費増の影響を上回り増益。

事業利益の増減要因（前年同期比）

(単位：億円)



(単位：億円)	2022/6期	2023/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	436	420	△ 15	680
装置	151	149	△ 1	181
継続契約型サービス	100	113	+ 13	224
サービス	185	159	△ 27	275
薬品	27	25	△ 2	54
精密洗浄	70	56	△ 13	128
メンテナンス	89	77	△ 12	93
売上高	309	432	+ 123	810
装置	82	195	+ 113	334
継続契約型サービス	99	112	+ 13	226
サービス	128	126	△ 2	250
薬品	27	25	△ 2	54
精密洗浄	69	57	△ 12	128
メンテナンス	32	43	+ 11	68

- 装置の受注高は、前年同期並みも高い水準が継続。売上高は、主に国内と中国の受注済み案件の売上計上により増収。
- 継続契約型サービスは、水供給の増加により増収。
- 精密洗浄事業は、顧客工場の稼働状況の影響を受け、受注高、売上高ともに減少。
- メンテナンスの受注高は、前年度、受注前倒し等により増加した反動により減少。売上高は、国内、海外ともに増収。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 120
為替影響	+ 3

一般水処理セグメント

(単位：億円)	2022/6期	2023/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	565	564	△ 2	1,070
装置	72	77	+ 5	123
継続契約型サービス	22	29	+ 7	50
サービス	472	458	△ 14	897
薬品	290	278	△ 12	623
メンテナンス	162	164	+ 2	237
その他	20	17	△ 3	37
売上高	437	473	+ 36	1,000
装置	33	45	+ 12	91
継続契約型サービス	14	22	+ 9	53
サービス	390	406	+16	856
薬品	284	277	△ 7	618
メンテナンス	87	112	+ 24	193
その他	19	17	△ 2	45

- 装置の売上高は、国内、海外ともに受注済み案件の工事進捗により増収。
- 継続契約型サービスは、国内、海外ともに伸長。
- 薬品は、顧客工場の稼働状況の影響を受け、中国で受注高・売上高が減少。
- メンテナンスの受注高はほぼ横ばいも、売上高は、国内における洗浄案件の獲得、工事進捗により増収。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 22
為替影響	+ 14

地域別売上高・CSVビジネス売上高



地域別売上高（全社連結）

（単位：億円）	2022/6期	2023/6期	前年同期比	上期見通し
日本	370	481	+110	919
アジア	163	203	+ 40	420
北南米	144	144	+ 1	316
EMEA	69	77	+ 8	154
合計	747	905	+ 159	1,810

地域別売上高（一般水処理）

（単位：億円）	2022/6期	2023/6期	前年同期比	上期見通し
日本	211	236	+ 25	467
アジア	60	54	△ 6	144
北南米	97	106	+ 9	234
EMEA	69	77	+ 8	154
合計	437	473	+ 36	1,000

地域別売上高（電子）

（単位：億円）	2022/6期	2023/6期	前年同期比	上期見通し
日本	160	245	+ 85	452
アジア	103	149	+ 46	276
北南米	46	38	△ 8	82
EMEA	—	—	—	—
合計	309	432	+ 123	810

CSVビジネス売上高

（単位：億円）	2023/6期	売上高に占める比率※
CSVビジネス売上高	89	9.8%
内訳		
電子セグメント	29	6.7%
一般水処理セグメント	60	12.7%

※全社または各セグメントの売上高に占める比率

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2022/6期	2023/6期	前年同期比	通期 見通し
設備投資額（有形*）	109	83	△ 25	357
減価償却費（有形*）	59	69	+ 10	273
研究開発費	15	17	+ 3	76

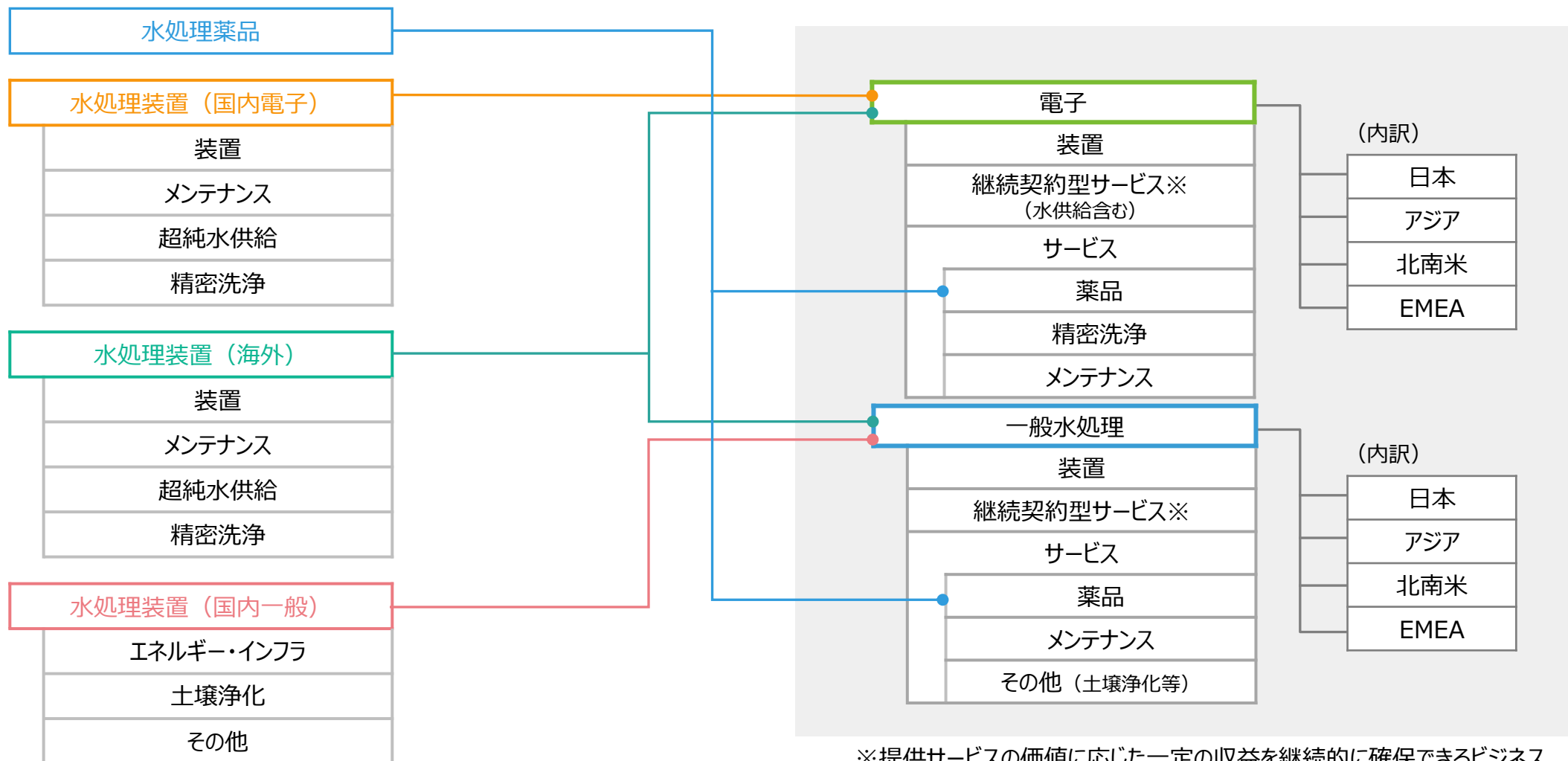
* 使用権資産含む。

- 設備投資額は、水供給向けの投資額の減少により、前年同期比で減少。
- 減価償却費は、前期期中における新たな水供給案件の開始に伴い前年同期比で増加。
- 研究開発費は、イノベーション創出に向けた取り組み強化により増加。

〔参考〕セグメント変更

～2023年3月期

2024年3月期～



※提供サービスの価値に応じた一定の収益を継続的に確保できるビジネス



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している製品・サービス名およびロゴは、当社または他社の商標または登録商標です。